



# 神戸大学交響楽団

第62回定期演奏会

/ご/挨拶/

神戸大学交響楽団顧問 大津留 厚

本日は神戸大学交響楽団の定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございました。今回は客演指揮者に井村誠貴先生をお招きして、チャイコフスキー交響曲第4番、チャイコフスキー「ロメオとジュリエット」、ドヴォルザーク「わが家」の三曲を演奏いたします。1840年にロシアで生まれたチャイコフスキーと1841年にプラハで生まれたドヴォルザーク、ともにスラヴ主義的な作風に始まって国際的に活躍した二人がこの演奏会で交錯します。お楽しみいただければ幸いです。

今年の交響楽団は神戸大学創立110周年記念式典で記念演奏会を開き、8月には京都大学交響楽団とジョイントでコンサートを開くなど意欲的に取り組んできました。これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

いつも細やかなご指導を頂いているトレーナーの先生に心よりお礼申し上げます。最後になりましたが、今日お越しの皆様には今後とも神戸大学交響楽団をお引き立ていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

響友会会長 八木 秀夫

(神戸大学交響楽団OB・OG会) (昭49年卒 チェロ)

本日は神戸大学交響楽団 第62回定期演奏会にご来場賜り、誠に有難うございます。

今回はチャイコフスキーの素晴らしい名曲をメインとするプログラムですが、演奏者にとりましては難曲であり、団員は十二分に練習時間を重ね、本日を迎えたことと存じます。団員一人一人の努力と情熱が素晴らしい演奏に結実致しますことを、期待頂きたく存じます。

神戸大学交響楽団は2015年に団創立100周年を迎えます。当団の長い歴史を振り返りますと、近年は団員数も増加し演奏レベルも向上して参りましたが、これを機に更なる飛躍に繋がることを期待しております。OB会であります響友会としましても、創立100周年を迎える交響楽団に対し一層の支援を致したく存じております。

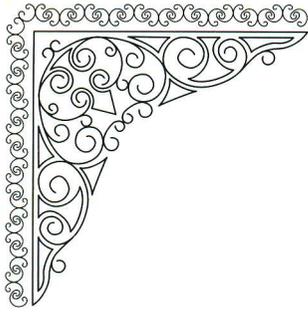
本日会場にお越し頂きました皆様にも、応援頂ければ幸いです。

神戸大学交響楽団団長 梶田 伸明

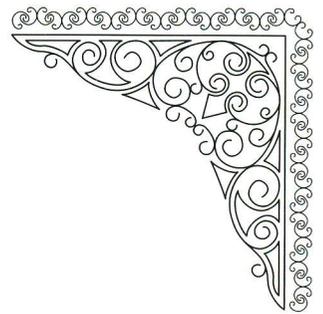
本日はお忙しい中、神戸大学交響楽団第62回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございました。今回も定期演奏会を無事に開催することができ、団員一同大変うれしく思っております。

今年は8月に京都大学交響楽団様とジョイントコンサートを開催致しました。同じ学生オーケストラでありながら、音楽への意識や取り組み方など異なった部分も多く、大きな刺激を受けました。団員それぞれの中に変化があったように思います。今回はチャイコフスキーの交響曲第4番という難曲への挑戦ということで、苦しむことも多々ありましたが、井村先生の熱いご指導を頂きながら、懸命に練習してまいりました。様々な経験を積み、成長した姿を披露できれば幸いです。

最後になりましたが、演奏会開催にあたり、ご支援を賜りました諸先生方や響友会の皆様はじめ、ご協力下さいました全ての方々へ心より御礼申し上げます。



# PROGRAM



## 神戸大学交響楽団 第62回定期演奏会 Kobe University Symphony Orchestra 62th Regular Concert

序曲「わが家」

ドヴォルザーク

指揮 宮野 源史  
コンサートミストレス 林 美侑

幻想序曲「ロメオとジュリエット」

チャイコフスキー

指揮 井村 誠貴  
コンサートミストレス 澤井梨紗子

交響曲第4番 へ短調

チャイコフスキー

指揮 井村 誠貴  
コンサートマスター 青柳 翔丸

2012年12月26日(水) 午後7時開演  
神戸国際会館 こくさいホール

後援=兵庫県・神戸市民文化復興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社





客演指揮 井村 誠貴 (いむら まさき)

指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数が日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。

管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団、京都市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」を皮切りに、「マイ・フェアレディ」、「レ・ミゼラブル」、「ペテン師と詐欺師」、「The Musical AIDA」、「キャバレー」のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や尾崎紀世彦、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。

指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMF I 指揮者。

※トレーナーの先生方※

ギオルギ・バブアゼ (関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)

徳田 知 希 (大阪交響楽団 首席トランペット奏者)

村 瀬 司 (大阪交響楽団 首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。